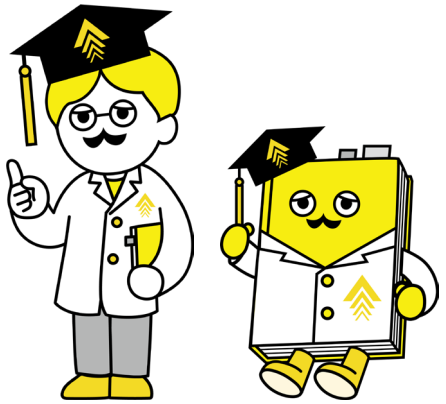
2025年度
投資家向け説明会

2025年6月30日



アサカ理研公式キャラクター
リケン博士
本にも変身できる

Circulate
the possibilities

ASK

株式会社アサカ理研

証券コード：5724

目次

1.会社紹介

2.事業紹介

3.LiB再生事業(新規事業)

4.株主還元

5.長期ビジョン

copyright@Asaka Riken Co.,Ltd.

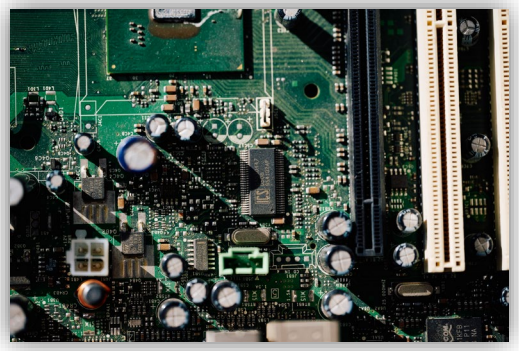
1. 会社紹介

Circulate
the possibilities

株式会社アサカ理研

証券コード：5724

はじめに



社是

「豊かな創造性を発揮し、社会貢献を果たす」

持続可能なサーキュラーエコノミーを実現し
環境・社会問題の解決へ

「都市鉱山」から有価金属を回収する

資源再生メーカー

copyright@Asaka Riken Co.,Ltd.

会社概要

社　　名	株式会社アサカ理研
代　　表	代表取締役社長　山田　浩太
設　　立	昭和44年8月25日 (1969年8月25日)
資 本 金	504百万円
本社所在地	福島県郡山市田村町金屋字マセ口47番地
連結子会社	アサカ弘運株式会社
従業員数	260名（2025年3月31日現在）
認証取得	ISO9001・ISO14001
上場市場	東証スタンダード市場 (5724)

copyright@Asaka Riken Co.,Ltd.

これまでの歩み

当社のムーブメント

1969年 創業　環境事業の始まり

1971年 貴金属回収事業の始まり

1995年 洗浄分野へ参入

2008年 JASDAQ上場

2013年 レアメタル・
レアアース研究へ参入

2019年 LiB※再生分野参入

2024年 LiB再生事業の
ビジネスモデルが確立

中国漁船衝突事件による対日輸出規制

パリ協定の採択

欧州バッテリー規則(EU電池規則)発表

(日本)温室効果ガス排出量の46%削減を宣言

1969 — 1990 — 2010 — 2020 — 2024

社会のムーブメント

●高度経済成長期

●社会問題の顕在化

●循環型社会の形成促進

リサイクルがまだ社会に浸透していない時代から、
環境保全や資源の有効活用に着手

※ LiB…リチウムイオン電池

copyright@Asaka Riken Co.,Ltd.

2. 事業紹介

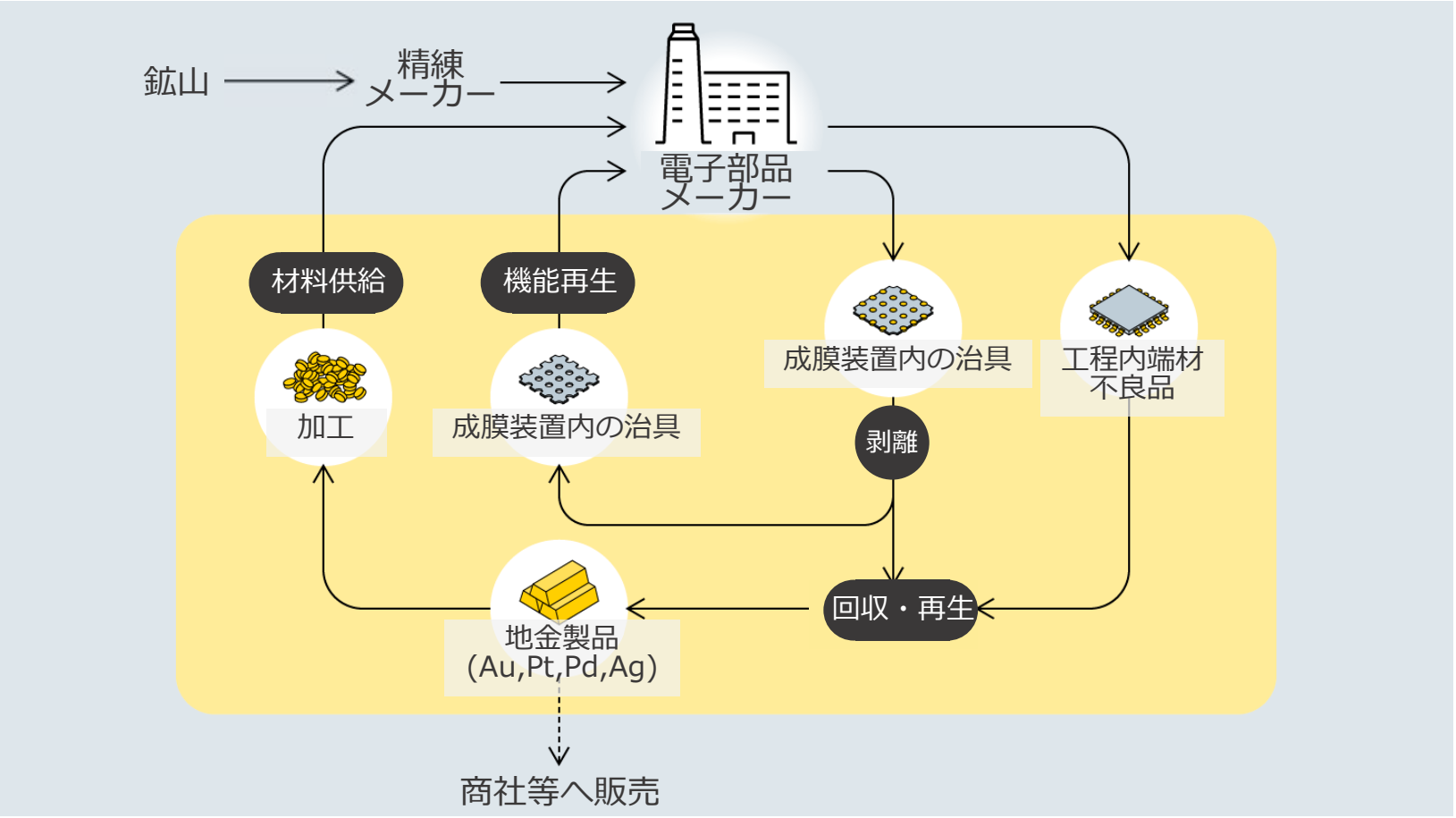
Circulate
the possibilities

株式会社アサカ理研
ASK
証券コード：5724

貴金属事業

- 金を扱う主力事業
- 当社収益の約80%を占める

・電子部品メーカーの製品端材、不良品から金を回収・再生
・電子部品メーカーの製造装置に付着した金を剥離・洗浄・再生



copyright@Asaka Riken Co.,Ltd.

ASKの技術

ASK独自のコア技術

■選択的剥離技術
✓独自の薬液配合
✓母材を傷めない

■分離・精製技術
✓スピーディな回収精製
✓高い回収率

「高速精製装置“ハイエクト”」

■金(Au)の純度99.999%(ファイブナイン)達成！

金のインゴットは通常99.99%（フォーナイン）で精製される

当社はより高純度で精製が可能

写真：純金溶液を精製するハイエクト

強み

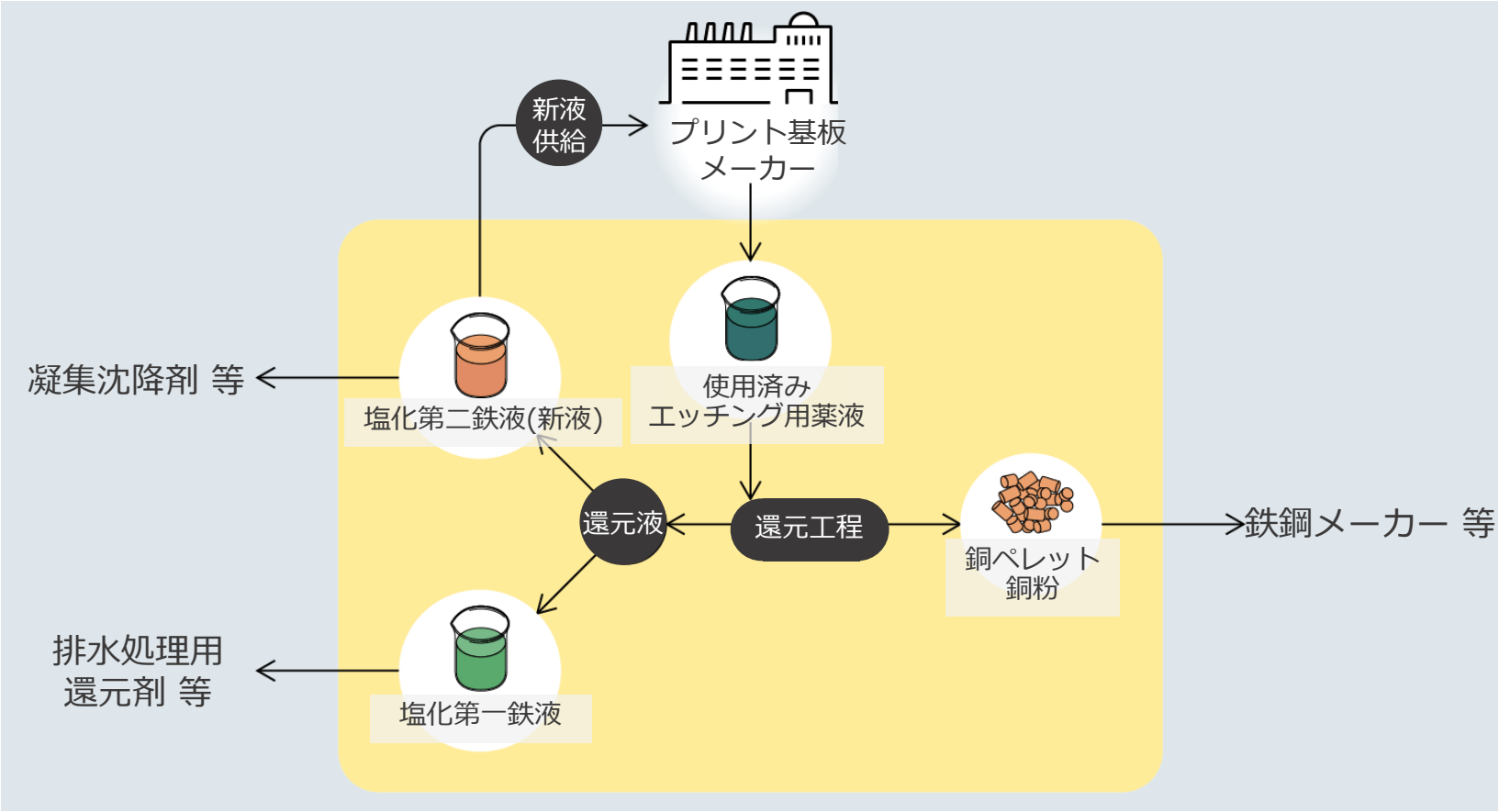
- 高回収率
- 短納期
- 多品種対応
- 低コスト
- 環境負荷低減

copyright@Asaka Riken Co.,Ltd.

環境事業

銅を扱う当社の祖業

・エッチングに使用された薬液から銅を回収し、薬液を再生
・銅が鉄鋼メーカーに、新液はプリント基板メーカーに販売

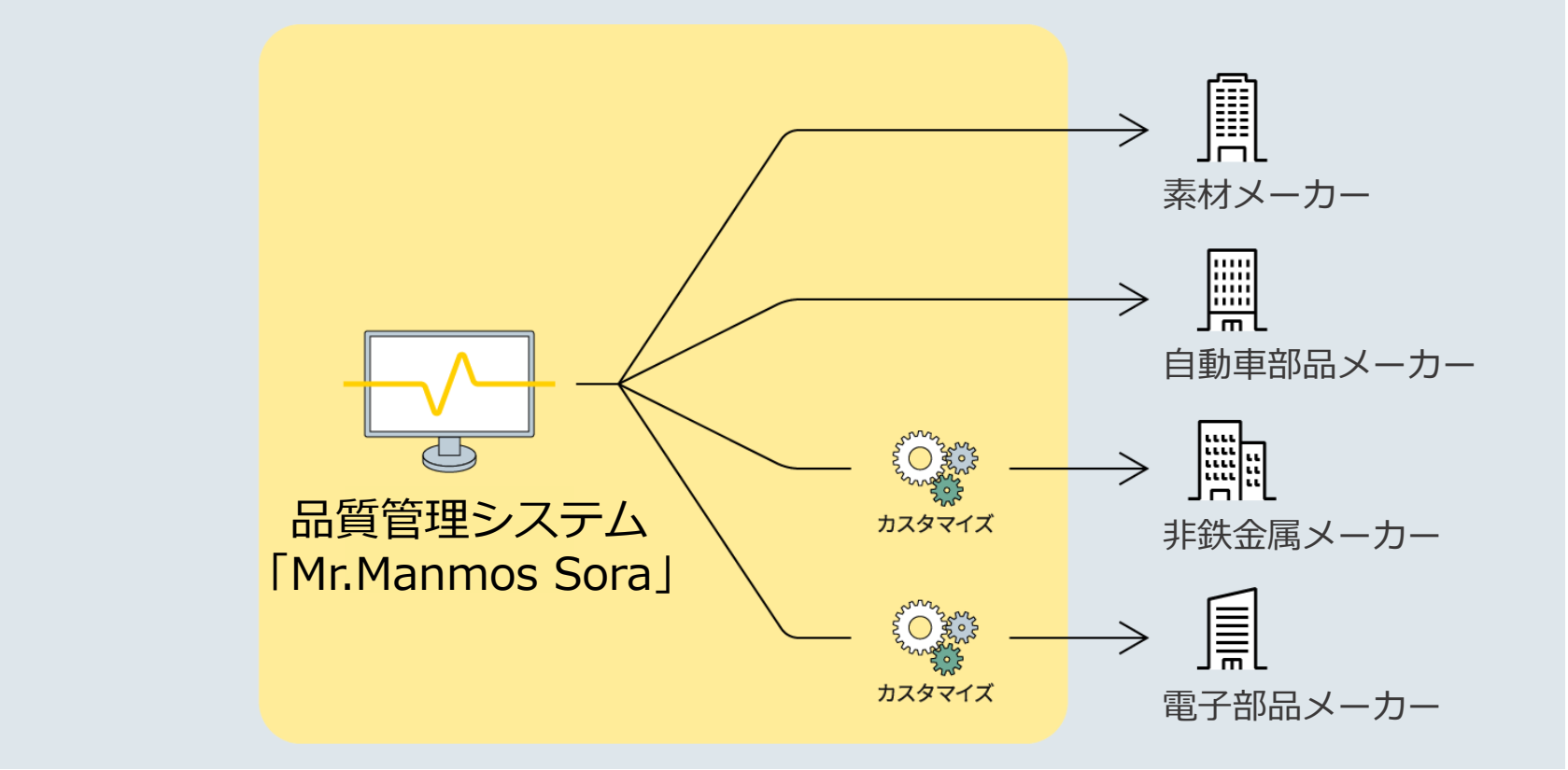


copyright@Asaka Riken Co.,Ltd.

システム事業

当社開発の品質管理システム「Mr.Manmos Sora」

・製造現場に欠かせない検査データ管理ソフトを提供
・柔軟なカスタマイズにより多種多様なメーカー様のニーズに対応



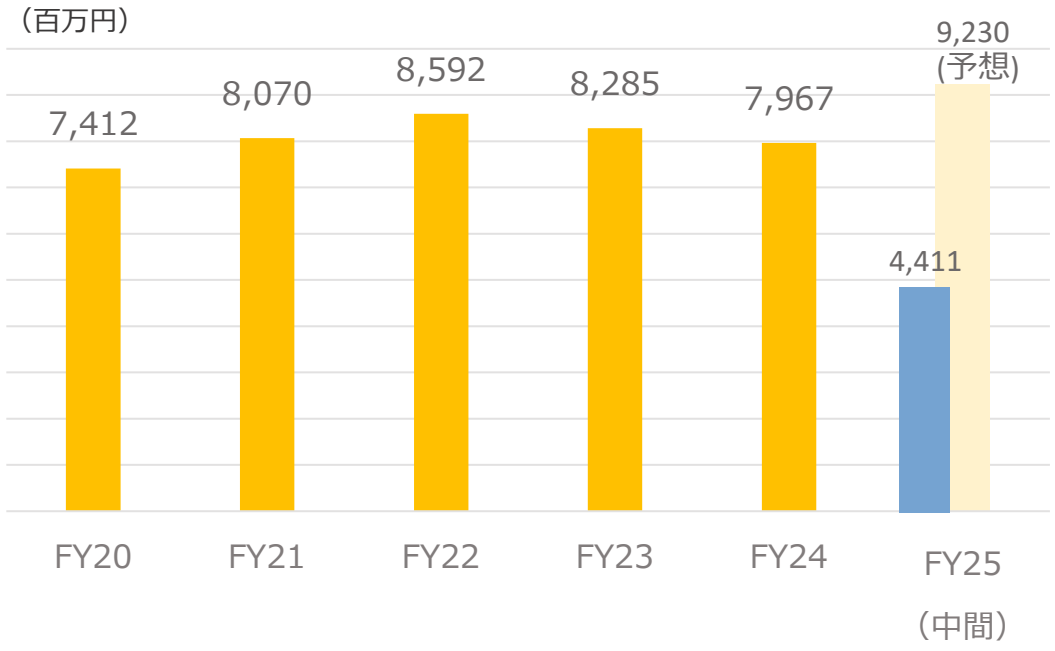
copyright@Asaka Riken Co.,Ltd.

業績実績と予想

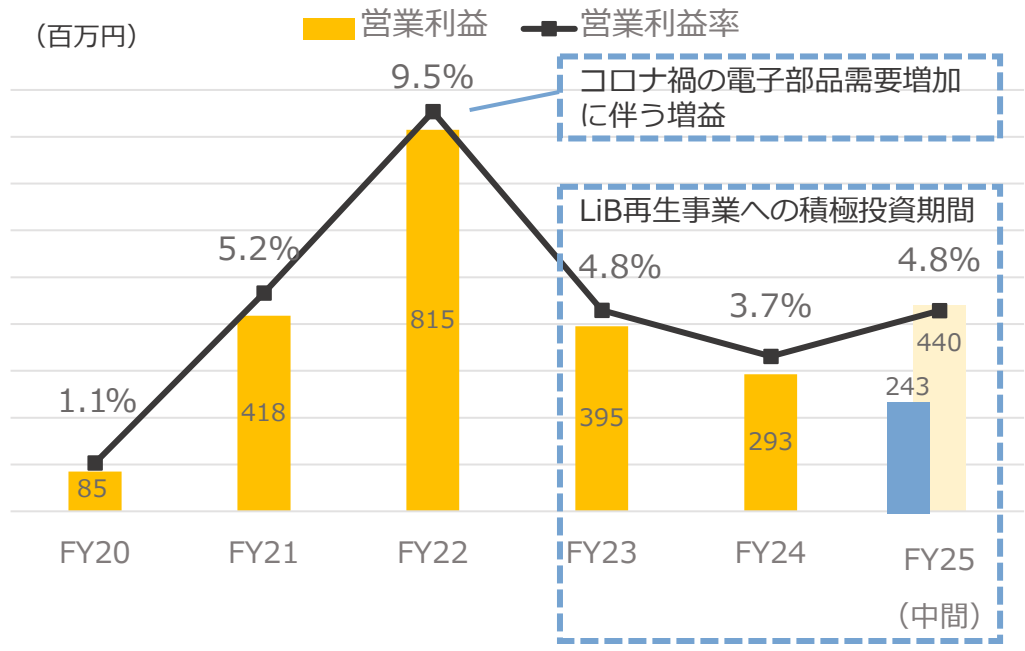
・主力製品である金や銅の相場上昇により
前期比で増収増益となる見込み

・2023年度以降、研究開発へ積極投資を継続

売上高推移



営業利益推移



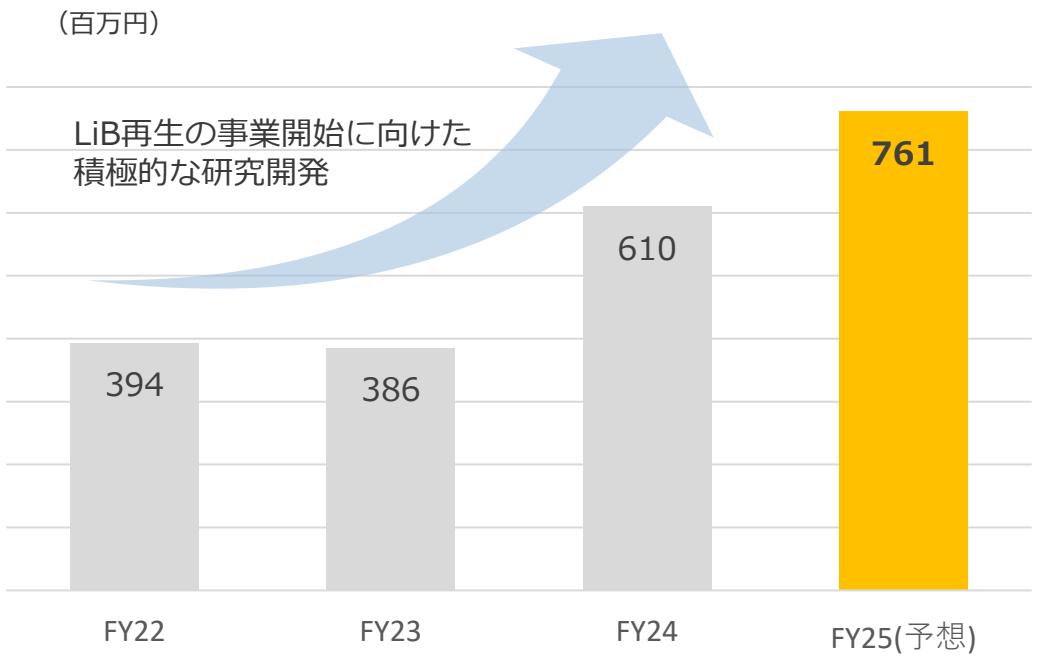
copyright@Asaka Riken Co.,Ltd.

新事業への積極投資

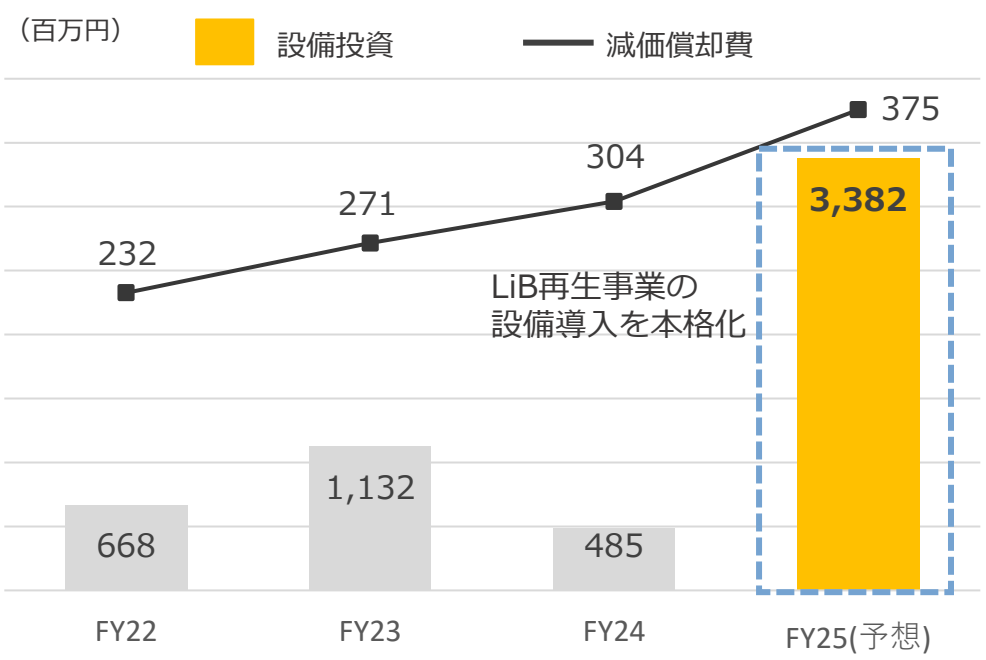
・LiB再生事業のプロセス安定化や
生産効率向上のための研究開発を継続
・試験稼働開始後は研究開発費は一服する見通し

・LiB再生事業のプラント構築により投資額が増加
26年度も引き続き大規模投資を継続
・減価償却費は研究開発設備への投資増加に伴い
増加する見込み

研究開発費



設備投資・減価償却費



copyright@Asaka Riken Co.,Ltd.

既存事業の拡充
保有技術を活かした新規事業の確立

既存

貴金属事業

電子スクラップから
有価金属を回収し、再び
使用できる原料へ再生。
アサカ理研の主力事業。

環境事業

回路基板製造時の廃液を
回収し、再び使用できる
新液へ再生。
アサカ理研の祖業。

システム事業

製造現場等における
品質管理工程の
ヒューマンエラーを
防ぐシステムの提案。

＋

新規

LiB再生事業

車載用リチウムイオン電池
(LiB)より
レアメタルを回収し
再びLiBの材料へ。

copyright@Asaka Riken Co.,Ltd.

3. LiB再生事業（新規事業）

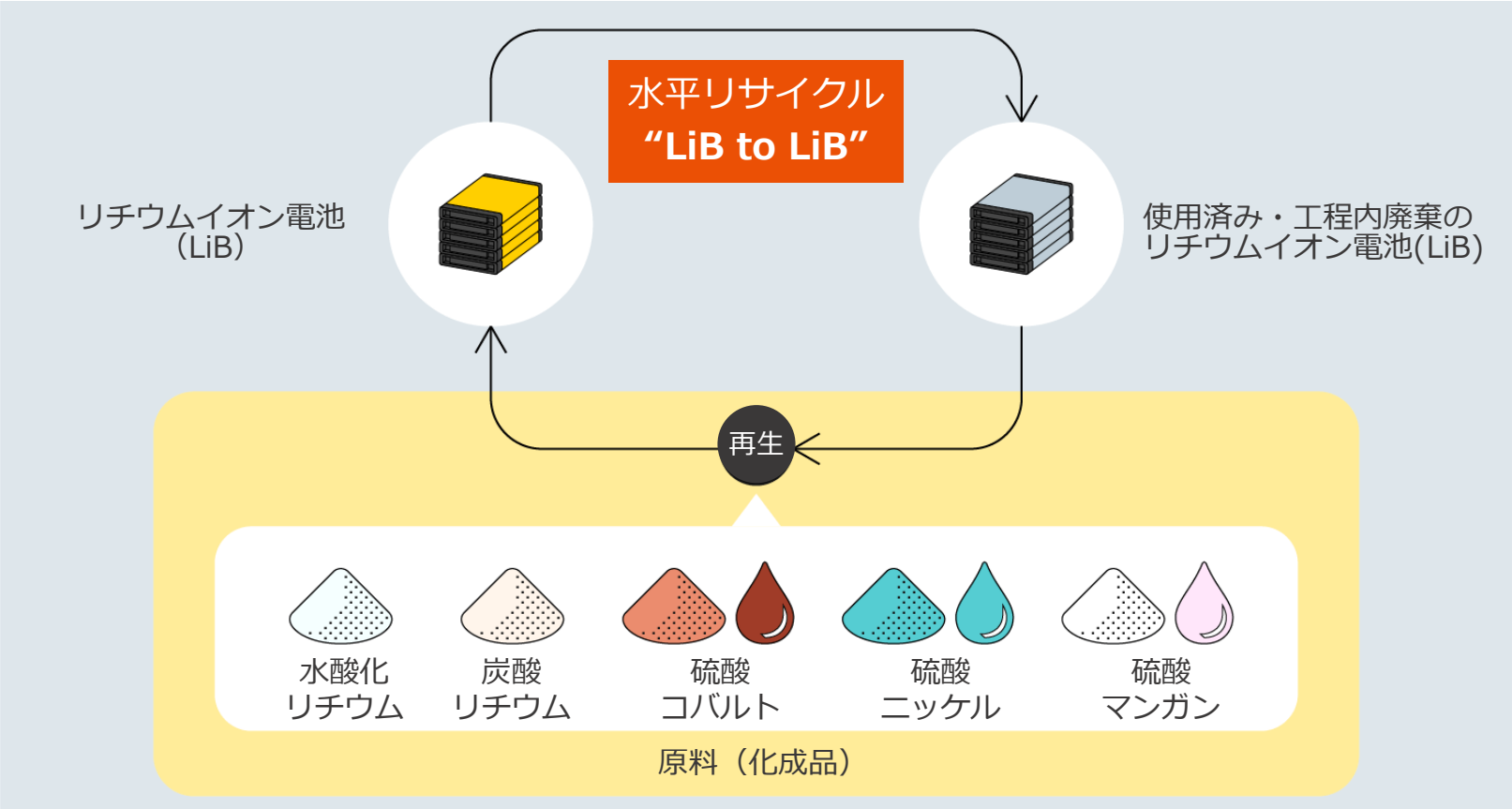
Circulate
the possibilities

株式会社アサカ理研
ASK
証券コード：5724

LiB (Lithium-ion Battery:LiB）再生事業

「LiB to LiB」の実現で
脱炭素を目指す新規事業

・電気自動車(EV)のLiBからレアメタルを抽出し
再びLiBの原料として供給(LiB to LiB)
・現在はいわき工場の量産プラント建築と研究開発に注力



copyright@Asaka Riken Co.,Ltd.

事業戦略

脱炭素化への課題(ニーズ)

・LiBの原料であるレアメタルの供給懸念
・EVの廃棄に伴うレアメタル資源の消失

LiB再生で提供する価値

・CO_2排出量の削減(脱炭素化)
・レアメタル資源枯渇の防止
・鉱山開発による環境破壊の防止

中期戦略　2028年～2035年

LiB工程廃材※にフォーカス

※LiB製造工程で発生する端材や不良品

◎集荷が比較的容易
◎早期に収益化が見込める

2030年LiB工程廃材見通し

当社処理量	市場供給量
約1.5万台分	約10万～50万台(当社試算)

長期戦略　2035年以降

使用済みLiBとLiB工程廃材を平行処理

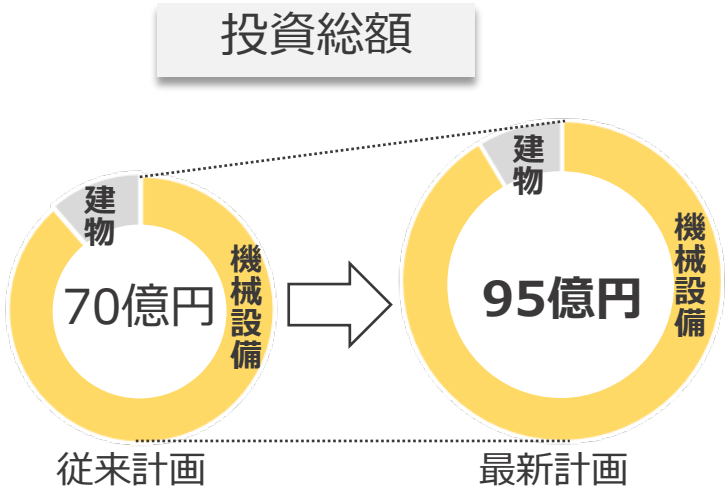
△発生時期が早くても2030年代後半
◎数量はLiB工程廃材を大きく上回る

LiBトレンドの変化への対応

◎LiBの走行距離増加(高容量化) に必要な水酸化Liの量産技術を保有

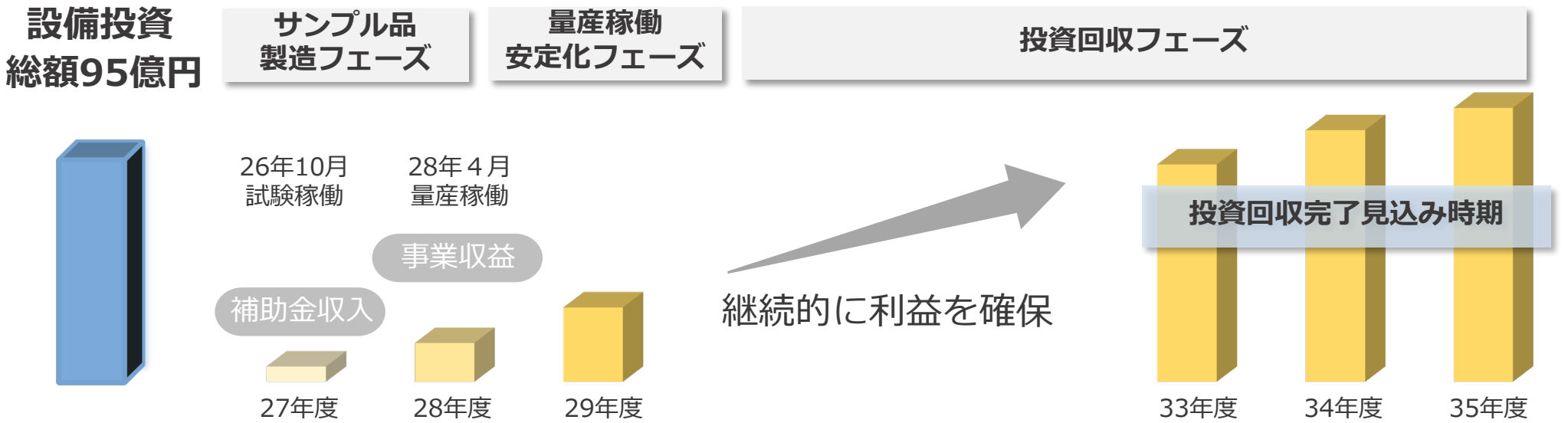
copyright@Asaka Riken Co.,Ltd.

投資額および投資回収スケジュール



事業への総投資額を95億円に確定(2025年5月)
増加分の25億円で生産用の機械設備を増強

◎生産効率および工場の処理能力が大幅に向上
◎生産効率向上に伴い投資回収は従来計画から遅れなし



copyright@Asaka Riken Co.,Ltd.

事業の強み

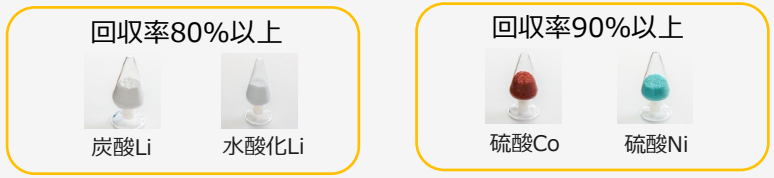
独自の薬液循環工程

最高水準の資源回収率

ー有限な資源の活用のために高回収率を重視
ー国際的なLiBリサイクル規制への適応※1

※1 EUがLiBからのレアメタルの回収率目標値を定めた
EU電池規則の現時点の目標値の達成

レアメタル回収率は世界トップクラス
（回収難度の高いリチウムの高回収）

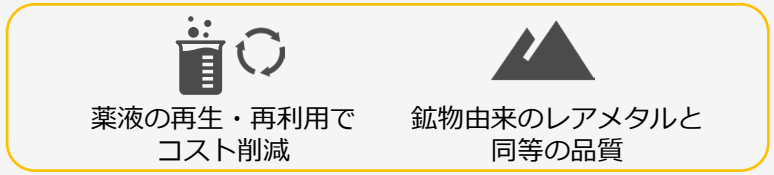


脱炭素と環境負荷低減

ー当社独自のクリーンなリサイクルプロセス

高品質・低コストの達成

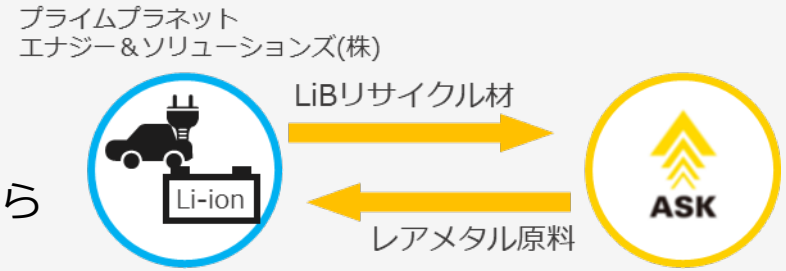
ー鉱物由来資源に劣らない品質とコストを実現



ビジネススキーム

リサイクル材の国内安定調達

ー国内最大規模の車載用LiBメーカーである
プライムプラネット エナジー＆ソリューションズ㈱から
LiBリサイクル材料を継続的に調達



copyright@Asaka Riken Co.,Ltd.

ロードマップ

レアメタルの需要拡大
資源枯渇懸念が強まる

LiBリサイクル関連の
環境規制の強化

EV市場の拡大加速
LiB工程廃材の増加

使用済LiB発生量増加
リサイクル需要の拡大

1st Step	2nd Step	3rd Step	Next Step
2013年～2022年	***2023年～2025年***	***2026年~2034年***	***2035年～***
○レアメタル事業の集大成 LiB事業へ参入	○研究開発が大幅に進捗 累計50件以上の特許申請	**○量産稼働を開始 高品質な原料を供給**	**○リサイクル処理能力の 大幅向上を目指す**
○溶媒抽出など独自技術を 派生させる	○事業領域の整備が進み 市場競争力を獲得	**○循環型社会実現に向け LiB to LiB がスタート**	**○LiB工程廃材と使用済LiB リサイクルの両立**

2013年　レアメタル事業参入
基礎研究を開始

2019年　LiB再生事業参入

2023年　レアメタル回収率
大幅向上に成功

2023年　環境を負荷低減した
プロセスの開発成功

2024年　電池メーカーとの提携

2026年10月
いわき工場試験稼働開始
認証用サンプル生産開始

2028年4月
いわき工場量産稼働開始

～2035年
LiB事業の投資回収完了

2035年～
使用済LiBリサイクル
処理量の拡大

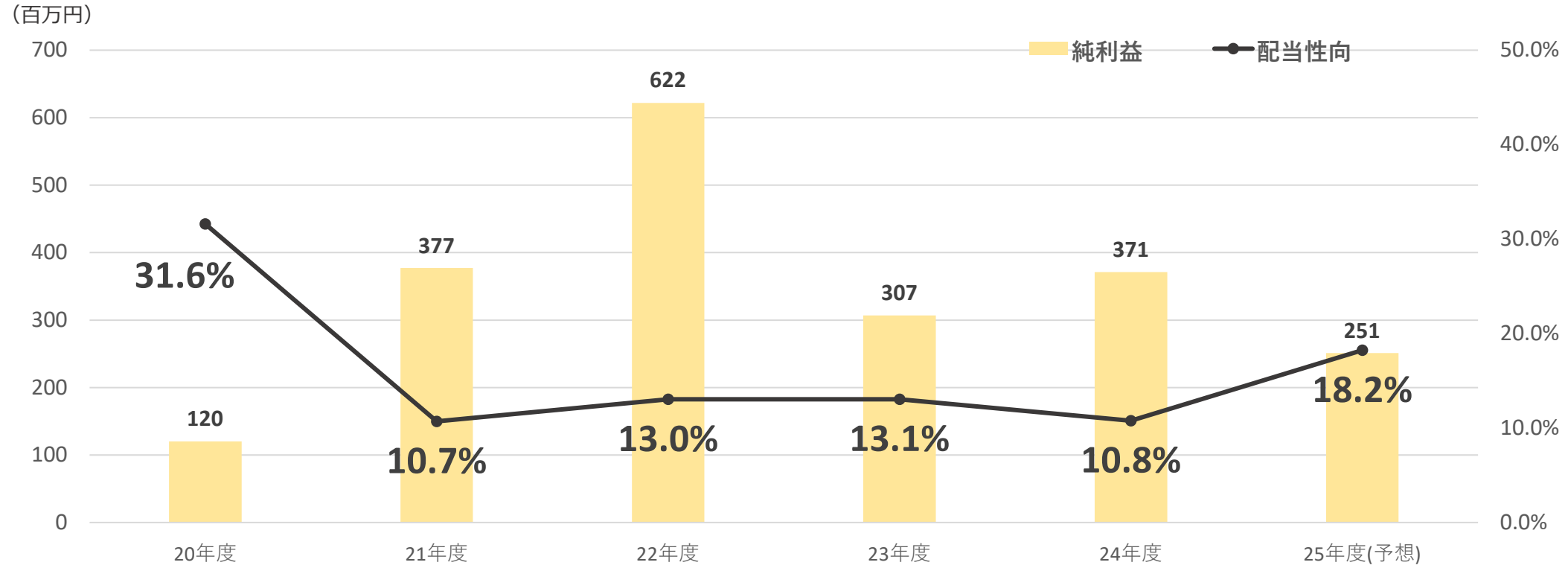
copyright@Asaka Riken Co.,Ltd.

4. 株主還元

Circulate
the possibilities

株式会社アサカ理研
ASK
証券コード：5724

配当性向の現状と方針



1株当たり配当	7.5円	8円	16円	8円	8円	8円(予想)

最高益記念増配8円含む

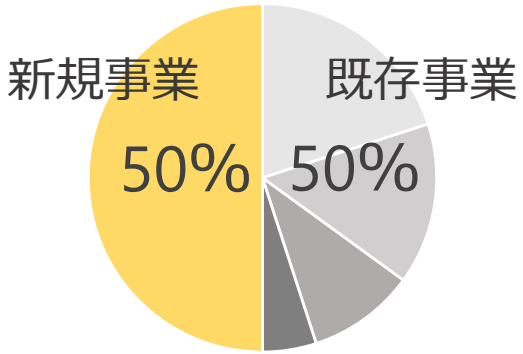
- **1株当たり8円の配当金を下限配当とする**
- **26年度にLiB再生事業への投資が完了したタイミングで株主還元を強化する**

企業価値向上に向けた取り組み

事業基盤の強靭化

ポートフォリオの再構築

・新規市場、顧客開拓
・生産工程の合理化、自動化
・高収益事業へのリソースシフト



人的資本投資

・人材育成への投資
・評価体系の改善

社会変化への適応

・ＤＸ化推進
・新規技術の活用

IR機能の強化

開示情報の拡充

・LiB事業の進捗情報の公開
・決算説明情報の公開

PBR

１倍以上

ROE

10%以上

の安定維持

Confidential　copyright@Asaka Riken Co.,Ltd.

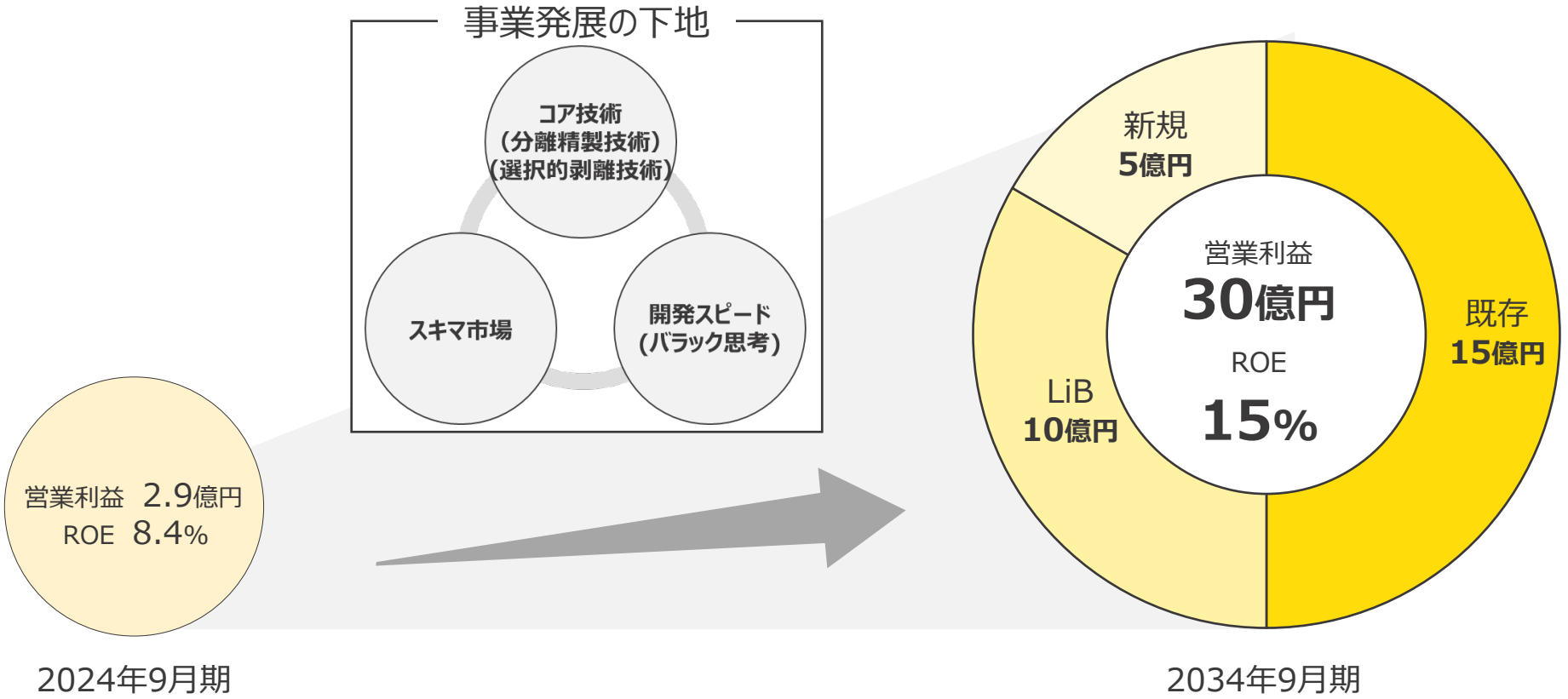
5. 長期ビジョン

Circulate
the possibilities

株式会社アサカ理研
ASK
証券コード：5724

ビジョン2034

新たな挑戦を通じて
資源循環社会の実現に貢献できるNo.1企業



免責事項

- ✓ 本書には、当社および当社グループに関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。

- ✓ 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められる会計原則に従って表示されています。既に行っております今後の見通しに関する発表につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。

- ✓ 本書はいかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付の申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。

copyright@Asaka Riken Co.,Ltd.

ASK

株式会社アサカ理研